



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 ユニチカ株式会社
コード番号 3103 URL <http://www.unitika.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 注連 浩行
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 石川 省二

TEL 06-6281-5721

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	77,623	△0.9	3,123	0.1	2,120	△6.0	△21,613	—
26年3月期第2四半期	78,307	2.8	3,119	34.6	2,255	362.2	1,648	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △22,015百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 2,690百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△37.69	—
26年3月期第2四半期	2.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	241,046	36,278	13.5
26年3月期	254,181	19,368	6.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 32,586百万円 26年3月期 15,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	1.4	8,000	17.7	6,000	27.3	△37,000	—	△64.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	577,523,433 株	26年3月期	577,523,433 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	789,597 株	26年3月期	782,356 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	576,738,174 株	26年3月期2Q	576,753,182 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期	—	0.00			
27年3月期(予想)			—	—	—
B種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期	—	0.00			
27年3月期(予想)			—	—	—
C種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期	—	0.00			
27年3月期(予想)			—	—	—

(注)現時点において平成27年3月期の1株当たり配当金については未定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
4. 補足資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融緩和策の継続や政府の機動的な財政支出により緩やかな景気回復基調を示していましたが、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や天候不順による消費不振の影響を受けました。一方、海外は、中国を始め新興国経済の減速が続くなど、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、本年度からスタートした新中期経営計画に掲げる成長戦略の早期実現に向け、高分子事業を中心とする機能資材メーカーとしての基盤強化及び低採算事業の構造改革に努めてまいりました。また、7月末に第三者割当による種類株式約375億円の払込手続が完了し、有利子負債の大幅な圧縮及び成長投資のための資本増強を完了しました。一方、事業ポートフォリオ改革の一環として、当社及び当社グループの豊橋事業所などに係る固定資産に関する減損損失や連結子会社であるユニチカスピニング株式会社の事業縮小に伴う事業構造改善費用などの特別損失を計上しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高は77,623百万円（前年同四半期比0.9%減）、営業利益は3,123百万円（同0.1%増）、経常利益は2,120百万円（同6.0%減）、四半期純損失は21,613百万円（前年同四半期は1,648百万円の利益）となりました。

なお、中間配当につきましては、引き続き見送ることとさせていただきますので、何とぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の状況は次のとおりです。

【高分子事業】

フィルム事業では、包装分野は、消費税増税後の食品や生活雑貨の消費低迷などの影響を受け、国内では販売数量、売上ともに減少しましたが、海外向けは堅調に推移しました。工業分野は、電気・電子機器用途の市況回復により、販売数量、売上ともに増加しました。この結果、事業全体で増収減益となりました。

樹脂事業では、ナイロン樹脂は、自動車用途の販売が堅調に推移しましたが、期後半は伸び悩みました。当社独自のポリアリーレート樹脂「Uポリマー」は、事務機器関連は堅調でしたが、情報端末機器用途は低調に推移しました。戦略アイテムである「アローベース」や「ゼコット」は用途展開が進みました。この結果、事業全体で増収減益となりました。

不織布事業では、ポリエステルスパンボンドは、海外では堅調に推移しましたが、国内では消費税増税後の市況低迷の影響を受け、生活資材用途を中心に売上が減少しました。コットンスパンレースは、ウェットシート用途は好調に推移し、その他の用途でも輸出を含め堅調に推移したため、売上は増加しました。この結果、事業全体で減収増益となりました。

以上の結果、高分子事業の売上高は32,300百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益は3,033百万円（同5.4%減）となりました。

【機能材事業】

ガラス繊維事業では、産業資材分野は、建築・土木用途の防水シートなどを中心に販売は堅調に推移し、売上が増加しました。電子材料分野も、ICクロスは半導体やスマートフォン用途で差別化品である超薄物タイプの販売が堅調に推移し、売上が増加しました。ガラスビーズ事業では、ロードマーキング用途で売上が減少しましたが、自動車向けなどの工業用途で売上が増加し、反射材用途もシェアの回復に努めた結果、売上が増加しました。また、活性炭繊維事業では、浄水器用途は堅調でしたが、自動車用途、空気清浄機用途などは低調に推移しました。

以上の結果、機能材事業の売上高は7,596百万円（同5.9%増）、営業利益は936百万円（同7.0%増）となりました。

【繊維事業】

産業繊維事業では、ポリエステル高強力糸は、主力の建築・土木分野が好調に推移し、ポリエステル短繊維は、コスト削減施策や低採算製品の販売縮小などが奏功し、収益は改善しました。ビニロンは、アスベスト代替のセメント補強用途で、欧州及び新興国向けで高採算製品への販売転換が進み、売上が増加しました。また、ビニロンフィラメントなどの価格改定の効果もあり、全体として収益は改善しましたが、コスト削減など更に収益の改善を進めてまいります。

衣料繊維事業では、ユニフォーム分野は、円安による海外生産品の調達コスト上昇などの影響を受けたものの、ワーキング用途の市況回復などにより売上が増加しました。また、スポーツ分野は、国内市場で苦戦しましたが、レディス分野は、ニット素材を中心に堅調に推移しました。

以上の結果、繊維事業の売上高は32,504百万円（同0.1%減）、営業利益は228百万円（前年同四半期は142百万円の損失）となりました。

【その他】

生活健康事業では、「白幻鳳凰」などの健康食品が、消費税増税の影響により低調に推移しましたが、セラミドを中心とした機能性食品原料や飼料原料は好調でした。メディカル事業では、循環系カテーテルの新製品クワッドルーメンタイプや海外向け酵素の売上が増加しましたが、診断薬の売上は減少しました。

不動産関連事業では、一部の開発用不動産の分譲中止により、売上が減少しました。

以上の結果、その他の売上高は5,222百万円(前年同四半期比14.7%減)、営業利益は154百万円(同66.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ13,135百万円減少し、241,046百万円となりました。これは、主として現金及び預金が増加したものの、有形固定資産が減少したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ30,044百万円減少し、204,768百万円となりました。これは、主として有利子負債が減少したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ16,909百万円増加し、36,278百万円となりました。これは、主として株式の発行により株主資本が増加したことによります。

また、キャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失でありましたが、減価償却費を加えたキャッシュ・イン・フローなどにより、5,348百万円の資金の増加(前年同四半期比286.5%増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴い2,038百万円を支出したことなどにより、2,249百万円の資金の減少(前年同四半期は1,545百万円の資金の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、株式の発行、借入金の返済などにより、8,557百万円の資金の増加(前年同四半期比31.1%増)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ11,620百万円増加し、31,177百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、今年度、平成26年5月26日に公表いたしました新中期経営計画の初年度として、成長戦略の推進や事業ポートフォリオ改革に取り組んでまいります。

新中期経営計画に基づき公表しました平成27年3月期の業績予想につきましては、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,426百万円減少し、利益剰余金が1,426百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ109百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,587	31,202
受取手形及び売掛金	35,324	33,791
たな卸資産	39,891	37,096
その他	4,736	4,666
貸倒引当金	△169	△169
流動資産合計	99,370	106,587
固定資産		
有形固定資産		
土地	103,036	85,259
その他(純額)	45,551	42,666
有形固定資産合計	148,588	127,925
無形固定資産		
のれん	9	7
その他	1,191	1,271
無形固定資産合計	1,201	1,279
投資その他の資産		
その他	5,294	5,527
貸倒引当金	△273	△272
投資その他の資産合計	5,020	5,254
固定資産合計	154,811	134,459
資産合計	254,181	241,046

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,696	17,839
短期借入金	70,125	2,013
1年内返済予定の長期借入金	39,240	1,688
未払法人税等	1,035	613
賞与引当金	1,595	1,549
製品改修引当金	1,284	1,297
事業構造改善引当金	566	1,716
その他	11,012	11,820
流動負債合計	144,555	38,539
固定負債		
長期借入金	55,187	132,200
役員退職慰労引当金	26	26
退職給付に係る負債	13,034	11,898
その他	22,008	22,103
固定負債合計	90,257	166,229
負債合計	234,813	204,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,298	100
資本剰余金	4,385	60,275
利益剰余金	△11,392	△25,733
自己株式	△44	△45
株主資本合計	19,245	34,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	265	312
繰延ヘッジ損益	△8	△276
土地再評価差額金	2,918	4,879
為替換算調整勘定	△2,904	△3,633
退職給付に係る調整累計額	△3,977	△3,292
その他の包括利益累計額合計	△3,705	△2,010
少数株主持分	3,828	3,692
純資産合計	19,368	36,278
負債純資産合計	254,181	241,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	78,307	77,623
売上原価	63,714	62,640
売上総利益	14,592	14,982
販売費及び一般管理費	11,473	11,858
営業利益	3,119	3,123
営業外収益		
受取利息	70	89
受取配当金	53	48
為替差益	445	660
持分法による投資利益	3	8
その他	499	276
営業外収益合計	1,072	1,083
営業外費用		
支払利息	1,472	1,401
その他	464	684
営業外費用合計	1,936	2,085
経常利益	2,255	2,120
特別利益		
投資有価証券売却益	275	—
投資有価証券清算分配金	186	—
特別利益合計	462	—
特別損失		
固定資産処分損	292	259
減損損失	—	2,894
事業構造改善費用	84	20,139
その他	123	374
特別損失合計	501	23,667
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,216	△21,546
法人税、住民税及び事業税	425	451
法人税等調整額	120	△385
法人税等合計	546	65
少数株主損益調整前四半期純利益 又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,669	△21,612
少数株主利益	21	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,648	△21,613

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,669	△21,612
又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)		
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74	46
繰延ヘッジ損益	△9	△265
為替換算調整勘定	955	△868
退職給付に係る調整額	—	684
その他の包括利益合計	1,020	△402
四半期包括利益	2,690	△22,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,474	△21,879
少数株主に係る四半期包括利益	216	△136

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,216	△21,546
又は税金等調整前四半期純損失 (△)		
減価償却費	2,468	2,372
減損損失	—	2,894
事業構造改善費用	—	18,791
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△56	△1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	500	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	986
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△573	1,150
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△93	△30
支払利息	1,472	1,401
固定資産処分損益 (△は益)	292	259
投資有価証券売却損益 (△は益)	△275	—
投資有価証券清算分配金	△186	—
売上債権の増減額 (△は増加)	4,972	1,482
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,889	1,927
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,889	△1,726
その他	△619	△502
小計	3,338	7,458
利息及び配当金の受取額	123	138
利息の支払額	△1,467	△1,408
法人税等の支払額	△611	△840
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,383	5,348
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	9	5
投資有価証券の取得による支出	△11	△11
投資有価証券の売却による収入	759	—
有形固定資産の取得による支出	△2,524	△2,038
有形固定資産の売却による収入	14	0
その他	206	△205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,545	△2,249
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	518	△24,582
長期借入れによる収入	27,431	50
長期借入金の返済による支出	△21,240	△4,054
株式の発行による収入	—	37,218
その他	△184	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,525	8,557
現金及び現金同等物に係る換算差額	157	△35
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,520	11,620
現金及び現金同等物の期首残高	19,636	19,557
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,157	31,177

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年7月31日に第三者割当による種類株式の発行に伴う資金が払い込まれたことに伴い、平成26年6月27日開催の定時株主総会における決議（資本金の額、資本準備金の額及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分）の効力が発生し、下記のとおり振り替えております。

(1) 種類株式の発行による資本金等の増加

資本金の増加額	18,749百万円
資本準備金の増加額	18,749百万円

(2) 資本金等の額の減少

資本金の減少額	44,947百万円
資本準備金の減少額	23,134百万円
その他資本剰余金の増加額	68,082百万円
利益準備金の減少額	1,506百万円
繰越利益剰余金の増加額	1,506百万円

(3) 剰余金の処分

その他資本剰余金の減少額	7,806百万円
別途積立金の減少額	1,150百万円
繰越利益剰余金の増加額	8,956百万円

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	32,487	7,171	32,524	72,183	6,124	78,307	—	78,307
セグメント間の内部売上 高又は振替高	7	31	136	176	839	1,015	△1,015	—
計	32,495	7,202	32,661	72,359	6,963	79,323	△1,015	78,307
セグメント利益又は損失 (△)	3,205	875	△142	3,938	466	4,404	△1,285	3,119

- (注) 1. その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,285百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	32,300	7,596	32,504	72,400	5,222	77,623	—	77,623
セグメント間の内部売上 高又は振替高	28	29	102	159	716	876	△876	—
計	32,328	7,625	32,606	72,560	5,938	78,499	△876	77,623
セグメント利益	3,033	936	228	4,198	154	4,352	△1,229	3,123

- (注) 1. その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△1,229百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足資料

①業績及び27年3月期業績予想(連結)

(百万円)

			売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連 結	25/3	年 間	160,190	5,519	3,853	△ 10,875
	26/3	第2Q	78,307	3,119	2,255	1,648
		年 間	162,686	6,799	4,713	583
	27/3	第2Q	77,623	3,123	2,120	△ 21,613
		年間(予想)	165,000	8,000	6,000	△ 37,000
前年比較		第2Q	△ 684	4	△ 134	△ 23,261
		年 間	2,313	1,200	1,286	△ 37,583

②セグメント情報(連結)

(百万円)

			高分子	機能材	織 維	その他	消去・全社	連 結
前年実績	25/9 (実績)	外部売上高	32,487	7,171	32,524	6,124	—	78,307
		構成比(%)	41.5	9.2	41.5	7.8	—	100.0
		営業利益	3,205	875	△ 142	466	△ 1,285	3,119
		構成比(%)	102.8	28.1	△ 4.6	14.9	△ 41.2	100.0
	26/3 (実績)	外部売上高	65,523	14,855	68,170	14,136	—	162,686
		構成比(%)	40.3	9.1	41.9	8.7	—	100.0
		営業利益	6,839	1,903	424	798	△ 3,166	6,799
		構成比(%)	100.6	28.0	6.2	11.7	△ 46.6	100.0
当期実績	26/9 (実績)	外部売上高	32,300	7,596	32,504	5,222	—	77,623
		構成比(%)	41.6	9.8	41.9	6.7	—	100.0
		営業利益	3,033	936	228	154	△ 1,229	3,123
		構成比(%)	97.1	30.0	7.3	4.9	△ 39.4	100.0
前年比較	26/9 (実績)	外部売上高	△ 187	425	△ 20	△ 901	—	△ 684
		増減率(%)	△ 0.6	5.9	△ 0.1	△ 14.7	—	△ 0.9
		営業利益	△ 172	61	370	△ 311	55	4
		増減率(%)	△ 5.4	7.0	—	△ 66.9	△ 4.4	0.1

③設備投資実施額・減価償却費(有形固定資産)・研究開発費・有利子負債・金融収支・正従業員数(連結)

(百万円、人)

		設備投資 実施額	減 価 償却費	研 究 開発費	有利子 負債(期末)	金 融 収 支	正従業員数 (人)
25/3	年 間	6,095	5,480	4,345	166,521	△ 2,808	4,534
25/9	第2Q	2,623	2,377	1,888	173,768	△ 1,347	4,503
26/3	年 間	4,995	4,936	3,881	164,552	△ 2,768	4,513
26/9	第2Q	2,378	2,267	1,973	135,902	△ 1,263	4,571

④キャッシュ・フロー(連結)

(百万円)

		営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物の 期 末 残 高
25/3	年 間	16,040	△ 4,404	△ 7,432	19,636
25/9	第2Q	1,383	△ 1,545	6,525	26,157
26/3	年 間	6,839	△ 4,103	△ 3,053	19,557
26/9	第2Q	5,348	△ 2,249	8,557	31,177